



議会 だより

No.64 2022年2月5日発行

おもな内容

議会のしくみ	 P 2 ~ P 3
令和3年 第4回西海市定例会	 P 4 ~ P 5
常任委員会審査報告	 P 6 ~ P 7
一般質問	 P 8 ~ P12
厚生常任委員会調査報告ほか	 P13 ~ P14
市民の声	 P15
議会クイズ、編集後記	 P16



「冬晴れのさざんか」(西海町)

撮影：打田 清 議員[西海町]

本誌に写真を掲載しませんか？

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください。



市議会とは

市議会とは、市の条例(決まり)の制定や改正など、また、市の政策形成や実施に関し、最終的な決定を行うところです。

また、市議会では、議会が決定した政策を中心に行う市の行財政の運営のしかたや事業の実施について、市民の立場に立って、正しく行われているかチェックします。

このように、市議会と市長は、互いに独立し、対等の立場で、お互いにけん制し、均衡をとりながら、よりよい市の発展を目指しています。



市議会議員

市議会議員は、4年ごとに行われる住民の直接選挙によって選ばれます。

議員定数は18名で、現在の議員の任期は、令和3年5月1日から令和7年4月30日までとなっています。

定例会と臨時会

定例会は、年4回(3月、6月、9月、12月)定期的に開かれ、臨時会は、必要に応じて、特定の事件を審議するために開かれる議会で、いずれも市長が招集します。

定例会、臨時会では、本会議や委員会を開き、議案などの審議を通じて、最終的な政策の決定を行います。

●議会運営委員会…議会の運営等について協議する委員会です。

名 称	所 管 事 項	委員定数
議会運営委員会	議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項等	6人

●常任委員会…議案・請願などの審査を行う委員会です。西海市議会では4つの常任委員会が設置されています。

名 称	所 管 事 項	委員定数
総務文教常任委員会	総務部、さいかい力創造部、会計課、教育委員会、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項及び他の委員会の所管に属しない事項	6人
産業建設常任委員会	西海ブランド振興部、建設部、水道部及び農業委員会の所管に属する事項	6人
厚生常任委員会	市民環境部及び保健福祉部の所管に属する事項	6人
予算決算常任委員会	一般会計予算及び一般会計決算に関する事項	17人

●特別委員会…特定の事件について設置される委員会です。

名 称	所 管 事 項	委員定数
基地対策特別委員会	基地施設周辺地域の生活環境等の整備その他基地の設置及び運用に伴う諸問題に関する審査及び調査	8人

●協議調整の場…協議又は調整を行うための場です。

名 称	所 管 事 務	構成員
議会広報広聴委員会	「議会広報誌の編集」と「市民と議会のつどいの開催」に関する協議	8人



議会の

《市議会定例会の主な流れ》

本会議	開 会	議長が定例会の始まりを宣言し、定例会が始まります。	
	議案の上程	議案が本会議に提出され、議長が議事日程に上げる事で議題となります。	
	提案理由説明	提案者が議案の内容や提案理由を説明します。	
	質 疑	議員が、議案について不明な点を質し、市長や部長等が答えます。	
	自由討議	議員同士で自由に意見を出し合って十分に議論し、理解を深めます。	
	委員会付託	議案を所管別に分けて各常任委員会へ審査を依頼します。	
	一般質問	議員が、市政全般について質問し、市長や部長等が答えます。	

委員会	議案の補足説明	市の担当者が付託された議案について説明します。	
	質 疑	委員が、議案の疑問点について質し、部長等が答えます。	
	討 論	委員が、議案に対し賛成や反対の立場で意見を述べます。	
	採 決	出席委員が多数決で委員会の意思を決定します。	

本会議	委員長報告	各委員長が、委員会での審査結果を報告します。	
	報告に対する質疑	議員が、委員長報告に対する疑問点について質し、委員長が答えます。	
	自由討議	議員同士で自由に意見を出し合って十分に議論し、理解を深めます。	
	討 論	議員が、議案に対し賛成や反対の立場で意見をのべます。	
	採 決	出席議員が多数決で議案に対する議会の意思を最終決定します。	
	閉 会	議長が定例会の終わりを宣言し、定例会が終了します。	

西海市議会に関する各種情報を公開しています。

●議会中継をインターネットにより動画配信しています。

西海市議会ではインターネットによる本会議の動画配信（ライブ及び録画）をしています。市のホームページから、または、<https://saikai-city.stream.jfit.co.jp/>へアクセスしていただくと、一般質問などの映像をご覧いただけます。ライブ配信は議会開催中に、録画配信は会議終了後2～3週間程度でご覧いただけます。



●議会会議録をインターネットで公表しています。

西海市議会ではインターネットで本会議の会議録を公表しています。市のホームページから、または、<http://ssp.kaigiroku.net/tenant/saikai/SpTop.html>へアクセスしていただくと、平成17年以降に開催された定例市議会・臨時市議会の会議録を、キーワード、発言者、会議日程などにより検索して、閲覧することができます。



●西海市議会の本会議を傍聴できます。

西海市議会の本会議は公開されており、どなたでも自由に傍聴できます。

- 1：場所／本会議場（西海市役所本庁舎3階）
- 2：人数／60人まで（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴人を制限する可能性があります。）
- 3：受付場所／本会議場前傍聴受付
 - ・受付の際、所定の用紙に住所、氏名等を記載していただきます。
 - ・会議開始前から受付を開始し、会議中も随時受け付けます。

令和3年第4回市議会定例会

会期:令和3年11月26日～12月10日(15日間)

定例会の概要

第4回定例会では、議案16件(報告4件含む)、発委1件が提出されました。(5ページ参照)

議案のうち各常任委員会に付託された12議案(条例案・補正予算案・その他議案)は各常任委員会において、慎重に審査されました。(6、7ページ参照)

各常任委員会の付託内訳

総務文教常任委員会：1件

産業建設常任委員会：4件

厚生常任委員会：6件

予算決算常任委員会：1件

委員会発議により提出された「離島振興法の改正・延長を求める意見書」は原案のとおり、可決されました。

閉会中の継続調査は、産業建設常任委員会から「全面通行止めとなっている県道扇山公園線及び大瀬戸町下山区から奥浦地区の区間で通行止めとなっている森林基幹道西彼杵半島線の復旧に向けた市の取組みについて」、「県道扇山公園線の通行止めに伴う迂回路となっている市道奥浦幸物線及び新たに迂回路として整備される予定の市道白樫奥浦線の現況について」、「農業基盤整備を契機として生産拡大及び人口増加を達成した先進事例について」、厚生常任委員会から「西海市における医療と介護の連携の取組みについて」の申出があり、決定されました。

《会期日程》

11月26日

開会

会議録署名議員の指名

会期の決定

諸報告

議案上程・提案理由説明

11月30日

一般質問

12月1日

一般質問

12月2日

委員会付託

委員会審査

(総務文教・産業建設・厚生)

12月6日

予算決算常任委員会

12月10日

委員長報告

委員長報告に対する質疑

討論・採決

閉会



令和3年第4回市議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	付託委員会等	議決の結果
報告第33号	西海市交通船の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
報告第34号	西海市交通船の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
報告第35号	市道間瀬線物損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
報告第36号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について	本会議	承認
議案第56号	西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第57号	西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第58号	西海市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第59号	西海市有墓地利用条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第60号	西海市立蛸浦保育所の指定管理者の指定について	厚生	原案可決
議案第61号	西海市福島地区総合交流促進施設の指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第62号	西海市西彼農村環境改善センターの指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第63号	令和3年度西海市一般会計補正予算（第6号）	予算決算	原案可決
議案第64号	令和3年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	厚生	原案可決
議案第65号	令和3年度西海市介護保険特別会計補正予算（第2号）	厚生	原案可決
議案第66号	令和3年度西海市水道事業会計補正予算（第3号）	産業建設	原案可決
議案第67号	令和3年度西海市下水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
発委第3号	離島振興法の改正・延長を求める意見書	本会議	原案可決



総務文教常任委員会

審査件数

条例案1件

主な審査内容

議案第56号 西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

この議案は、令和4年4月の大崎小学校開校に伴い、遠距離通学となる大島西小学校区及び崎戸小学校区にマイクロバスを整備し、児童の通学手段を確保するとともに、通学の負担軽減策としてスクールバスを運行するため、所要の改正を行うものです。

質疑 運転手の確保状況は。

答弁 運転手は、直接市で雇用するのではなく、運送事業者に委託する予定である。

質疑 運転手は何名予定しているのか。

答弁 運送事業者にて校区毎に1名ずつ確保していただく形になる。

質疑 スクールバスと合わせて、スマイルワゴンの利活用について検討する考えはあるか。

答弁 教育委員会ではスクールバスの運行で運用を考えている。路線バスへの影響もあるため、市全体における交通政策の観点で、検討すべ

きと考える。

質疑 既存のバス停を利用するのか。また、バス停に関して安全確認、危険箇所がないか確認しているのか。

答弁 路線バスのバス停を活用したいと考えている。

安全確認については、路線バスが通行する時間帯であるため、運行する時間帯に、職員が通行して、路線バスとの離合や、子どもが待つ危険がないのか確認を行った。



産業建設常任委員会

審査件数

補正予算案2件
その他議案2件

主な審査内容

議案第61号 西海市福島地区総合交流促進施設の指定管理者の指定について

原案可決

この議案は、西海市福島地区総合交流促進施設の指定管理者を指定し、指定期間を令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間とするものです。

質疑 当該施設において自動ドアやエアコンなど、経年劣化等により修繕を必要とする箇所が多々見受けられ、その修繕には多額の費用を要することが想定されるが、令和4年度から指定管理者に管理を行わせるにあたり、市として本年度中に必要な修繕を行う必要があるのではないのか。

答弁 本来市で行うべき修繕は、可能な限り指定管理期間が始まるまでに実施し、多額の費用を要する場合は、補正予算により予算を確保して実施するよう計画したい。



西海市福島地区総合交流促進施設

議案第62号 西海市西彼農村環境改善センターの指定管理者の指定について

原案可決

この議案は、西海市西彼農村環境改善センターの指定管理者を指定し、指定期間を令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間とするものです。

質疑 当該施設の冷暖房機器のうち、フロンガス排出抑制法に係る改修が必要なものについての対応は。

答弁 来年度に設計し、令和5年度に改修工事を実施する予定で、過疎計画に計上している。

厚生常任委員会

審査件数

条例案3件
補正予算案2件
その他議案1件

主な審査内容

議案第57号 西海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

この議案は、地方税法等の一部を改正する法律が令和4年4月1日に施行されることに伴い、これまでの低所得世帯に対する国民健康保険税の軽減措置に加え、少子化対策として「子育て世帯の経済的負担軽減」の観点から、対象の全90世帯、約130人の未就学児の国民健康保険税の均等割を更に5割軽減するため改正を行うものです。

質疑

軽減措置に対する影響額は、

【答弁】 この措置に伴う軽減相当額は約164万円で、国、県費及び地方交付税により全額補填される。



議案第60号 西海市立蛸浦保育所の指定管理者の指定について
原案可決

この議案は、西海市立蛸浦保育所の管理を現行の指定管理者に引き続き1年間指定しようとするものです。

【質疑】 指定期間が1年間である理由と指定管理者選定理由について伺う。

【答弁】 令和5年度から公私連携型の認定こども園へ移行する方針が定められているため、1年間とした。指定管理者については、保護者から引き続き同じ指定管理者にお願いしたい旨の要望が出されたため、選定している。



蛸浦保育所

予算決算常任委員会

審査件数

補正予算案1件

主な審査内容

議案第63号 令和3年度西海市一般会計補正予算（第6号）
原案可決

◎電子図書館システム導入事業

新型コロナウイルス感染拡大による図書館の臨時休館や開館時間の短縮等の影響をなくすため、24時間利用可能な電子図書館を導入するもの。

【質疑】 利用できる冊数は、また、利用者の負担は発生するのか。

【答弁】 利用開始時点の電子書籍数は約8600冊だが、次年度以降も増冊を予定している。また、利用料金は発生しないが、閲覧する際の通信料は利用者の負担となる。

◎新型コロナウイルス感染症経済対策事業

西海ふるさと便の利用件数増加が見込まれるため、必要経費を増額するもの。

【質疑】 利用実績及び今後の見込みは。

【答弁】 令和3年10月末現在の利用件数は1万4257件、支出額は約1,945万円で、実績を含めた支出総額は約4,980万円を見込んで

◎災害復旧関連

令和3年8月の豪雨災害による林道や道路橋梁災害等の復旧事業費の増額を行うもの。

【質疑】 森林基幹道西彼杵半島線の復旧工事計画は。

【答弁】 令和4年1月の入札、工事に向けて事務を進めている。工事期間は6か月程度を予定している。

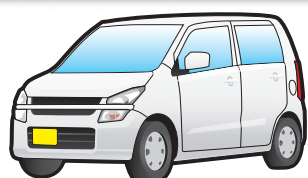
【質疑】 災害関連地域防災崖崩れ対策事業の概要は。

【答弁】 地域防災計画に危険箇所として記載されている等の崖地のうち、激甚災害に伴い崩壊等が発生し、これを放置すると人家2戸以上、または公共的建物に倒壊などの著しい被害を及ぼすと認められる箇所において、崖崩れ防止工事を行うもの。

◎その他の事業

公用車賃借（債務負担行為）
令和4年4月から一般会計にて管理している公用車85台をリースバックに変更するもの。

リースバックとは
現在所有している物品等を他に売って、そこからリースをすること。リースバックにより、維持管理等の手間を省くことができる。



一般質問

今定例会で一般質問した議員は8人でした。

一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。
スマートフォンなどで読み取ると当日の動画映像がご覧になります。



一般質問とは？



市議会議員が市に対して、事務の執行状況や今後の政策など、みなさんの生活にも関わる市の行財政全般について、疑問点を質したり、所信の表明を求めたりするものです。

西海市では一人60分（答弁、再

質問を含む）の

持ち時間制となっています。



一般質問は、「通告制」となっており、議長が定めた期間内に議長に質問の要旨などを文書で通告します。

質問範囲が多岐にわたることから、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備期間を設け、充実した政策論議を行うためです。

順番・氏名

質問事項

1.
瀬瀬 栄子
議員

- ・避難行動要支援者の避難体制の整備等について
- ・一般県道扇山公園線(幸物地区)の被災について
- ・やすらぎ交流拠点施設音浴博物館について
- ・崎戸町における水陸機動団の訓練計画について
- ・しまの有害鳥獣処分支援事業の充実について

2.
田川 正毅
議員

- ・国のカーボンニュートラル政策に対する本市の取組みについて
- ・災害復旧対策について
- ・大島地区の商業施設「大島楽市ショッピングセンター」の運営について
- ・西海市小中学校における学力向上施策の取組みについて
- ・西彼杵高校の存続について

3.
百岳 一彦
議員

- ・大島地区工業団地整備事業について
- ・救急医療について

4.
打田 清
議員

- ・新型コロナウイルス感染症について
- ・人口減少対策について
- ・気候変動・異常気象により大型化した台風や大雨災害に強いまちづくり、市民の生命・財産を守るための対策について

5.
平井 満洋
議員

- ・認知症患者について
- ・災害復旧の支援について
- ・スクールバスの運行について
- ・長崎オランダ村について
- ・旧長崎オランダ村について

順番・氏名

質問事項

6.
片山 智弘
議員

- ・DXの取組みについて

7.
杉山 誠治
議員

- ・災害復旧について

8.
戸浦 善彦
議員

- ・持続可能なまち、西海市づくりについて





あおい えいこ
荻瀬 栄子
議員



個別避難計画作成の 具体的取組は

問 避難行動要支援者（高齢者、障害者等）ごとの個別避難計画作成が、市町村の努力事務とされたが、具体的な取組状況を伺う。

市長 要支援者名簿登載者のうち、避難を必要とする区域に居住している方から優先的に作成することとし、関係団体に説明し、個別避難計画策定について意向を確認することとしている。

一般県道扇山公園線（幸物地区） の被災について

問 大瀬戸町幸物地区の生活道路である一般県道扇山公園線が、豪雨被災により全面通行止めになっている。早期復旧を要望しているのか。

市長 早期復旧の願いは地区に住む市民と同じであり、県知事に強く要望している。

問 迂回路となる市道奥浦幸物線に離合帯が設けられた箇所は、法面の吹付けなどが施されておらず、安

全面で懸念がある。県に更なる整備を要望すべきではないか。

市長 今後、経過観察を行い、保護が必要と判断される場合は、国・県と協議を行い対応する。

問 復旧するまでの救急搬送対策は。

市長 これまでドクターヘリが着陸できなかった旧幸物分校運動場を新たに着陸地点に追加してもらえよう、関係機関に要望している。



一般県道扇山公園線

崎戸町における水陸機動団の 訓練計画について

問 住民説明会では、騒音被害や漁業への影響を懸念する意見が出され、水陸機動団からは、住民の合意がなければ計画を断念するとの意向が示されたが、市長の見解を伺う。

市長 現在の計画で住民理解が得られない場合は、水陸機動団として訓練計画の見直しが必要か、計画を断念することも検討されると考えている。



たがわ まさき
田川 正毅
議員



カーボンニュートラル 政策推進について

問 国の脱炭素社会実現に向けた地域脱炭素移行・再エネ推進交付金などの支援策をいかに把握し対応するのか伺う。

市長 当該交付金の活用方法を検討するとともに、地域性を活かした脱炭素の取組みにとどまらず、地域雇用の創出につながるように積極的に進める。

また、林地の残材などの未利用材を化石燃料の代替熱エネルギーとして有効活用するための体制構築にも取り組んでいる。

幸物地区の災害復旧を急げ！

問 重要な生活道である一般県道扇山公園線の早期復旧と迂回路の整備について、県と連携して取り組むべきではないか。

市長 直接、県知事と葉梨農林水産副大臣に強く要望している。市としては、県と連携し市道奥浦幸物線

の離合個所の整備、市道白樫奥浦線の再開通に向け工事を行っている。

問 迂回路の安全確保のため、樹木伐採や街路灯の設置が必要では。

市長 所有者である国と協議して対応する。

大島楽市ショッピングセンター の運営について

問 当施設は建設から22年が経過し、老朽化に伴い雨漏り等が発生しており、補修が必要である。市の対応を伺う。

市長 当施設は大島地区の買い物物の中心であり、絶対に必要である。増資も含め対応する。

西彼杵高校の存続と活性化 について

問 存続に向けた関係者及び県教委との協議の進捗状況を伺う。

教育長 西彼杵高校活性化推進協議会が令和3年4月に設置された。3年間の協議検討を経て、令和5年・6年度の入学人数が定員の半数の40名を割り込むと原則として統廃合の検討となる。ゴルフ部など、他県からも入学したくなるような魅力ある新しい部活の設立に向けて、高校に助言や援助を行いたい。



西彼杵高校



ひやくたけ かずひろ
百 岳 一 彦
議員



大島地区工業団地整備事業 について

問 大島地区工業団地は、令和5年度中に公募の予定だが、誘致に向けた市の取組み状況を伺う。

市長 造船所関連企業の立地を目指しており、県外の企業にも当該工業団地の造成の紹介を行っている。

問 14.5ヘクタールを分譲予定だが、優遇措置は、パルテクノ西海と同様の内容になるのか伺う。

市長 雇用の拡大などの要件を満たせば、優遇措置の対象になる。

問 工場立地法では、緑地面積率を含めた環境施設面接率が25%以上と定められているが、法改正により、基準の範囲内で自治体が条例を定めることは可能となっている。立地希望の要望どおり緩和できないか。



市長 長崎県内では、3つの自治体が独自の条例を定めている。緑地面積率の緩和は企業の設備投資の呼び水となり、企業誘致を推進する上で有効な施策であるので、進めていく。

救急医療について

問 現在、救急車の要請をして、医療機関に到着するまで、約半数が1時間以上かかっているが、搬送時間を短縮する対策を検討しているか伺う。

市長 搬送時間短縮のための体制見直しは、佐世保市及び本市と同様に消防事務を委託する近隣市町の意向も確認しながら、長期の協議、検討を要するものと考えている。

問 救急車が狭い道路に進入できるように、小型救急車の導入の検討はできないか。

市長 小型救急車は、救急処置を車内で実施するために必要な資機材が搭載されない、車内で救急救命行為を行う空間が十分ではない場合があるなどデメリットがあるため、小型の救急車を導入することは困難である。



新型コロナウイルス感染症 について

問 新型コロナウイルス感染症の再拡大が危惧される。第6波に対する感染拡大防止に向けた対策を伺う。

市長 県と連携しながら感染予防、感染拡大防止対策に注力し、3回目のワクチン接種を令和4年1月からは医療従事者、2月からは高齢者を対象に順次行うこととし、11月29日から接種券を発送している。また、年末にかけて飲食の機会も増えることから、飲食の際は大人数を避け、ながさきコロナ対策飲食店認証制度により認証された店の利用促進を図っていく。日常生活においても、これまで同様に「マスクの着用」「手指消毒の徹底」「密の回避」「共用部分への接触注意」の周知徹底に努める。

問 12歳未満の子どもへのワクチン接種実施や接種に向けた意向調査は行っていないのか。

健康ほけん課長 現在5歳から11歳までの子どもに対するワクチン接種について、国の方針等は、まだ示され



うち だ きよし
打 田 清
議員



人口減少対策について

問 人口減少対策においては、産業振興は大きな柱の一つであるが、具体的な施策を伺う。

市長 大島地区工業団地の整備や大規模な農業基盤の整備、デジタル化社会に対応するための高速情報通信網の整備に努めた。

問 持続的雇用創出に繋がる施策を伺う。

市長 大島地区工業団地の整備完了後、大島造船所が当該団地を取得した場合、新たな設備投資が行われる。一方、松島火力発電所では、GENESIS松島計画概要による石炭ガス化技術導入について、令和6年に着工し、令和8年に運転開始を目指すとしている。また、江島沖洋上風力発電事業では、調査や風車本体設置・維持管理等々で土木・電気工事等が見込まれる。市としても、これらの事業に期待し、今後具体的な企業説明会の開催や人材育成セミナーなど、地元企業の機運の醸成を図る取組みを行い、雇用創出に繋げる。

大規模災害時の避難について

問 避難時の高齢者等の円滑な避難支援の取組みを伺う。

市長 平常時から避難行動要支援者名簿を民生委員・行政区長・警察署・社協等に提供し、災害発生に備えている。

ていない。また、意向調査等も現在のところ実施していない。

認知症患者について



ひらい みつひろ
平井 満洋
議員



問 認知症患者を在宅で介護する家族は、精神的にも肉体的にも負担が大きく、患者の症状が進めば経済的負担も増大し、介護が長引くと仕事との両立も困難になり、その際、離職を選択してしまうと、ますます経済的に逼迫することになる。介護費用は、認知症患者の介護度に合わせた介護サービスに係る自己負担以外にも、食費や介護用品に係る費用などがあり、それらは全額自己負担であるから、介護が長期間にわたれば、家族の経済的負担は計り知れない。介護保険サービスの範囲内であれば高額介護サービス費制度の対象となるが、自己負担せざるを得ない部分の費用について、認知症患者を抱える世帯に対し、何らかの支援及び認知症患者を介護する家族の精神的負担を緩和できるような事業ができないか伺う。

市長 介護保険の新規申請の要因となる疾患は認知症が最も多く、令和元年度においては20.7%を占めている。認知症患者に対する支援としては、認知症に特化したものではないが、介護保険特別会計の保健福祉事業として、要介護4、5の在宅高齢者について、おむつ等介護用品の支給を実施している。

介護家族の精神的負担の緩和策については、介護保険制度の中で位置づけられている地域支援事業として、月に1回、認知症の人やその家族が地域の人や専門家と相互に情報共有し、お互いを理解する場として、認知症カフェを開催している。運営については、市内の医療機関に委託しており、認知症に関する相談や作業療法士や薬剤師などの専門職の講話などを取り入れながら、家族等の精神的な負担を軽減する取組を実施している。



まずは！認知症を防ぐことが大事です。

DX推進について



かたやま ともひろ
片山 智弘
議員



問 職員のITリテラシーやデジタル化への意識向上について、今後の取組や考えを伺う。

市長 キーパーソンとなる人材の確保や、職員全体のITリテラシーの底上げに取り組んでいく必要があると考えている。キーパーソンとなる人材確保のため、国の派遣制度である「地方創生人材派遣制度」を活用したデジタル人材派遣の申請を今年10月に行った。また、職員のDX推進の意識醸成とITリテラシーの底上げのため、定期的な職員向けの研修会を計画している。

問 令和3年第2回定例市議会の所信表明でも、ICT、IoT、AI等の導入によるスマート農林水産業の推進を掲げているが、テクノロジーを活用した生産者への支援について、どのように取り組んでいくのか考えを伺う。

市長 農業では、本年4月に関係機関による西海市スマート農業推進協議会を立ち上げ、国庫補助事業で

あるスマート農業総合推進対策事業により、圃場管理システムを活用した効率的なドローン防除、水田水管理システムによる水管理の効率化、ラジコン草刈り機によるあぜや、のり面管理の省力化についての座学や現地研修会を開催し、検証を行っている。

林業では、スマート林業推進パイロットプロジェクトとして、今年度内に長崎県森林組合連合会や鹿児島大学の協力を得て、県内で初めてレーザーを搭載したドローンによる森林調査の実証実験に取り組むことを計画している。

水産業では、漁業機器メーカーによる、海底地形の3D描写機能を搭載したGPSプロッタ、魚種の判別や漁具投入のタイミングの判断に利用されるグラフ漁探などの紹介がされるセミナーを開催するなど漁業者が実際にスマート技術に触れる機会の創出を図っていく。



ITリテラシー … 情報技術を利用し、使いこなす能力・知識のこと。



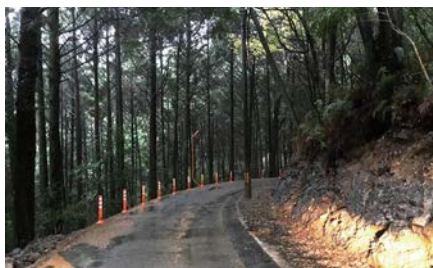
すぎやま せいじ
杉山 誠治
議員



災害復旧について

問 今回の大雨により通行止めになっている路線について、災害前の利便性を取り戻すため、早期復旧が望まれるが、被災した路線の復旧についてどのような見通しを持っているのか伺う。

市長 市道24路線中15路線を公共土木施設災害復旧事業で対応し、残り9路線のうち、4路線は単独災害復旧事業、5路線は維持工事で対応予定である。公共土木施設災害復旧事業は、12月3日までに順次災害査定を受け、査定終了後は、入札手続きを行い、早期着工を図る。林道1路線については災害査定を終え、早期着工を目指して事務手続きを行っている。



市道奥浦幸物線（大瀬戸町）

問 大島町内では、令和2年9月の台風で被害を受けた白浜高麗パ工建設海岸や柿田崎地区の農地海岸保全施設が復旧されないままとなっている。また、蛤、東徳万、大島白浜の各バス停も、損壊している箇所がそのままになっている。このように、県や市が所管する海岸やバス停において、未だ復旧していない箇所が市内各所にあるのではないかと推察する。早期に復旧すべきと考えるが、復旧の見通しを伺う。

市長 白浜高麗パ工建設海岸は県が管理する海岸保全施設で、来年度以降に復旧を図るとの回答であった。また、柿田崎農林海岸は、越波により打ち上げられた石を撤去し、自動車1台分が通行ができるスペースを市で応急的に確保しており、残りは県において予算が確保でき次第実施するよう協議済みである。バス待合所は、25か所の倒壊や破損を確認しており、令和2年度に11か所、令和3年度には6か所の復旧が完了し、東徳万を含む2か所は、間もなく着手の予定である。蛤、白浜を含む5か所は、令和4年度予算で対応する。



白浜高麗パ工建設海岸（大島町）



と う ら よ し ひ こ
戸 浦 善 彦
議員



問

本庁と5つの別館に分散している市役所の本庁機能について、市民の利便性向上はもとより、事務処理や消費エネルギーの効率化、脱炭素へ貢献し、DXの波に乗り遅れないICT環境の充実、また、防災機能強化等の観点から、本庁機能を統合した市役所庁舎、市長が標榜するゼロカーボンシティの概念や、持続可能な社会にふさわしい庁舎を建設する考えはないか伺う。

市長 将来的に新庁舎建設を検討する段階においては、令和2年12月10日に報告いただいた「庁舎建設等に関する調査特別委員会調査報告書」の指摘のとおり、市民の利便性を高める機能はもとより、大規模災害へ対応できる防災機能、可能な限りCO₂排出を削減するなど、環境に配慮した省エネ機能、自治体DXへの対応機能、市民の活動拠点として多目的に利用できる機能、地域交通との連携による、アクセスしやすい立地性など、様々な観点から総合的に検討していく必要があると考えており、庁舎建設機運の状況を見極めた上で、ゼロカーボンシ

ティの概念や持続可能な社会にふさわしい庁舎の建設に向けて、調査、検討をまいりたい。

他の質問

● 今般のコロナ禍による今後の市の税収への影響をどのように見込んでいるのか。

● 現在も施設の活用が進んでいない旧西海南小学校や旧西海南中学校、また、今年度末閉校となる崎戸小学校や大島西小学校の校舎を含め、今後の廃校舎等の利活用について、どのような検討がなされているのか。等々



市役所周辺のハザードマップ





厚生常任委員会調査報告

調査事件

西海市内の一般廃棄物処理施設の現状と管理の在り方及び今後の施設整備について

調査日

令和3年7月8日(木・28日(水)・8月11日(水))

経過

令和3年度補正予算において、リサイクルセンター運営の民間委託を検討する費用と西彼クリンセンター解体跡地の用地を購入する費用が計上されたことから、当該施設を含む西海市内の一般廃棄物処理施設の現状と管理の在り方及び今後の施設整備について、調査を行った。

調査結果

西海市炭化センターでは、可燃ごみや下水汚泥等を炭化処理し、炭化燃料を製造しているが、更なる有効利用を図るため、これまで埋立処分していた炭化不適物を令和3年8月から試験的に有償売却していた。

西海市リサイクルセンターでは、不燃ごみ・資源物等13分類の処理を行っており、県下2位のリサイクル率31.0%(令和元年度)であるが、新たな再資源物の利活用の研究を行っていた。また、施設運営の民間委託については、メリット、デメリットの比較調査を行い判断すると報告を受けた。

調査事件

西海市汚泥再生処理センターでは、し尿及び浄化槽汚泥等の処理を行っており、適正な処理を確認した。

調査日

西海市大瀬戸最終処分場では、炭化センター及びリサイクルセンターの処理残渣物を埋立処分しているが、処分場の残余容量を確保するため、令和3年度に2段目の嵩上げ工事を予定していた。

経過

旧西海市西彼クリンセンターは、令和3年5月に解体し、災害発生時の災害廃棄物仮置場として活用するため、購入に向け所有者と協議を行っているとのことであった。

まとめ

各施設とも清潔に保持され、適切な維持管理が図られており、大きな課題や問題は生じていなかった。本市では、ごみの発生抑制や再資源化によるごみ減量化を図り、本市の実情に適した循環型社会の実現を目指すとともに、生活排水処理の適正化を推進し、排出されるし尿や汚泥を適正に処理することを目的として、西海市一般廃棄物処理基本計画を策定していることから、効果的なごみ処理を実現するためにも一般廃棄物処理施設については計画的かつ効率的な維持管理や更新を推進していくことが重要と考える。

調査事件

「超高齢化社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望」について

調査日

令和3年10月21日(木)

経過

公益社団法人西海市シルバー人材センター等から陳情書「超高齢化社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望」が本市議会に提出されたことから、要望された事項に関し、調査を行った。

調査結果

要望事項については、ほぼ満たされていることを確認したが、令和5年10月導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、新たな消費税の負担に伴う事業運営への影響を懸念されていた。

まとめ

西海市シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」という理念のもとに、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、そして現役世代の下支えなど重要な役割を担っていることから、今後も安定的な事業の推進が図れるよう、市においては、引き続き必要な措置や支援策を講じていただくよう要望する。



陳情書の概要について質疑する委員(10月21日)



再資源化処理の現状を確認する委員(7月8日)

西海市の情報をテレビ画面上で確認できます！

地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることが出来ます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。（実施している他自治体の情報も閲覧可能）配信時のアクセ

ス集中による通信障害の心配ありません。7項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、**議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。**
ぜひ活用ください。

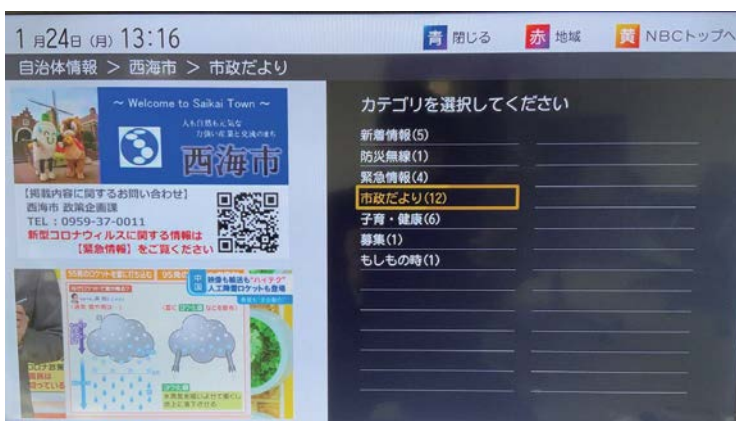
①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの④ボタンを押す



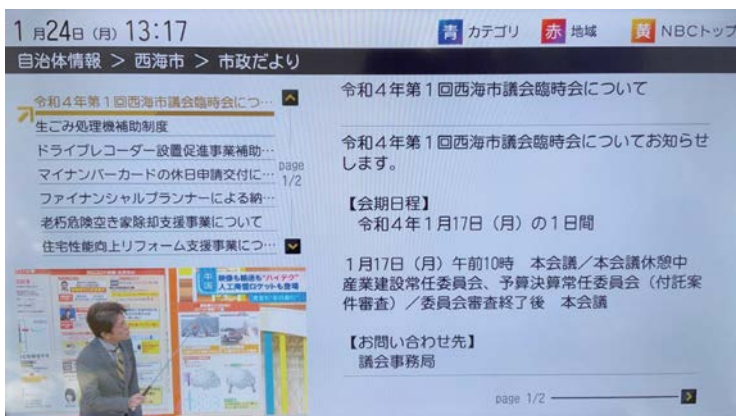
②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択



③「市政だより」を選択



④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される





長崎県立西彼杵高等学校

3年 藤本 葵
(西彼杵出身)

日本の西端にある西彼杵半島に位置する西海市。西彼杵高校の窓から見る美しい山々や海、四季によつては濃い緑や美しい紅葉、どこまでも澄みきった海や荒れ狂う海、そのような自然の営みを感じられる街で私は学び、生活してきました。私は、西海市が抱えている問題は人口減少と少子高齢化だと思います。まだ微力ではありますが、少しでも地元力になりたいと考え、介護施設への就職を希望し内定をいただきました。

私がそう考えたのは、障害を持った祖父がきっかけでした。祖父は足が不自由で松葉杖がないと歩くことができません。正直家族で出かけたときは、恥ずかしいという気持ちがありました。しかし、祖父の話を聞き、

本当に恥ずかしかったのは私の方だと気づきました。祖父は生まれてすぐに高熱が続く、足に後遺症が現れたそうです。しかし、戦争もありお金がなく病院へ行くこともできませんでした。そんな時代を一生懸命生き抜き、病院にも行けず学校にも行けなかったため、字の読み書きが全くできません。今の私たちの考えでは、かわいそうだと思いますが、祖父はそれよりも徴兵されなかつたことと、周囲からの批判や暴言などとも言えないような言葉を浴びせられたことが、足の事よりもつらかつたそうです。その話を聞き、私の気持ちは大きく変わりました。今の時代では考えられないような、人権が軽視された時代を祖父が生き抜いてくれたおかげで、母が生まれ父と出会い、私がいると感じています。

また、私は、学校を活性化するため多くの学校行事の実行委員やリーダーとして活動してきました。この経験を生かしてこれからも地元の人や西海市の魅力を

知ってもらうためにふるさと学習で学んだ地域

活性化について、自分ができることを考え実際に行動する努力をしたいと思います。そして、一生懸命働き、皆に頼られるような介護者となるよう多くのことを学び、身体が不自由な方や高齢者などの介護が必要となつた方々の支援をしていきます。



郵便はがき

8572392

郵送される
場合は63円
切手を貼って
下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第64号)



裏表紙に
西海市議会クイズが
あるよ！ 議会だよりを
よく読んで解答してね！

第20回 西海市議会 クイズ

ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

(1) 市政一般質問を行った議員は何人？

① 9人

② 12人

③ 8人

(2) 議案第56号の件名は？

① 西海市立蛸浦保育所の指定管理者の指定について

② 西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

③ 西海市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

(3) 令和3年第4回西海市議会定例会で決定された厚生常任委員会が行う閉会中の継続調査は？

① 西海市における医療と介護の連携の取組みについて

② 県道扇山公園線の通行止めに伴う迂回路となつている市道奥浦幸物線及び新たに迂回路として整備される予定の市道白樫奥浦線の現況について

③ 農業基盤整備を契機として生産拡大及び人口増加を達成した先進事例について

(4) 総務文教常任委員会に付託された議案件数は？

① 2件

② 6件

③ 1件

応募方法

はがき、FAX、メール、入力フォームにて、住所・氏名・年齢・クイズの答えを明記してご応募ください。

※はがきは、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へ提出いただけます。

応募先

〒857-2392

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸郷浦郷2222番地

0959-3710226まで

(メール)

bikai@city.saikai.lg.jp

入力フォーム

スマートフォ

ンなどでQR

コードを読み

取ると入力フ

ォームが開き、応募がで

きます。

令和4年3月11日(金)

消印有効(11日支所提出

分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に**QUOカード(1000円分)**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



応募総数22名(正解者18名)

※落選通知は送付しませんのでご了承ください。
【個人情報取扱について】
ご記入いただきました個人情報、商品発送などの目的以外には利用いたしません。

第20回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

郵便番号 〒

住所 市 町 郷 番地

ふりがな
氏名

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見

今後いただいた感想、ご意見は匿名で掲載させていただく場合があります。

編集後記

「新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式を実践」
中長期にわたり感染症対策と向き合う中で、運動不足から、身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されており、子供の健全な発育発達、テニスの推進に伴う身体活動量の低下のほか、特に中高年者については、生活習慣病等の発症や体力・生活機能の低下が、顕著に表れてきています。そこで、簡単に出来る効率的な運動を提案します。例えば「階段歩くことが少ない人に対して二日一万歩歩きましょう」と目標を掲げても達成するのは難しいでしょう。そこで「今より10分多く身体を動かしましょう」という指針が厚生労働省より出されました。10分多く動くということは、歩数にすると約千歩多く歩くということになります。今すぐでもできます。少し行動を見直すことで動くことにつながります。無理をしないで自分のできる事を考えてみると、日々の生活もまた違った視点や視野が広がります。市民の皆様、試してみてください。



議会広報広聴委員会

